

公民館だより

和田

その2

第 342 号
 令和 5 年 2 月 10 日発行
 日置市吹上町和田地区公民館
 電話 099-296-3031
 ホームページ <http://wada.jpn.org/>



おひさま運動

おはようの声ひびく 思いやり育てる やさしいまち
 ひろげよう読書 感動あふれる 学びのまち
 さわやかな汗 心と体きたえる 健康なまち
 まもろう決まり みんなでつくる 安全なまち

下和田自治会：いきいきサロンの開催



誕生祝をしてもらえていくつになってもうれしいですね

地区内では 5 つの自治会でいきいきサロンを開催しています。

下和田自治会では自治会と高齢部でいきいきサロンを開設しています。

1 月は新年会と誕生会を行いました。ハーモニカ教室の会員がハーモニカの演奏をしたりして楽しいひと時を過ごしました。

かねては、なかなか顔を合わす機会がありませんが、いきいきサロンではみんなと話したり食事したりと楽しみです。

自治会長の馬籠章一さんは「誕生日をみんなで祝ってもらえて楽しかった。お花をもらいました」と嬉しそうに話していました。

社会参加活動が生きがいづくりに

下和田自治会の高齢部は、市高齢者クラブにも加入し、助成金などを活用し充実した活動を行っています。春・秋の花苗植えや手入れ、一人暮らしの方への友愛訪問など高齢になっても社会的な役割があることが生きがいづくりにつながっているようです。

事故ゼロの作業を；刈払機・チェーンソーの正しい使い方を学ぶ

1 月 22 日（日）和田水土里クラブと地区公民館産業部により刈払機・チェーンソーの取り扱い講習会を開催しました。



刈払機、チェーンソーを正しく使うことで事故ゼロに

美しい農村景観を未来の子どもたちに残すために、農道や市道、河川愛護作業を各自治会で取り組んでいます。

作業を安全に行うには、刈払機やチェーンソーを正しく使うことが重要です。

刈払機作業は 5m 以上離れて

刈払機の事故で多いのが作業する人が近づいて相手に刃が当たり怪我を負わせる事故です。絶対に近づかないようにしましょう。刈払機やチェーンソーは、ホームセンターなどで簡単に購入できます。正しい取り扱いを学ばないまま、使ってしまうと間違った使い方をして事故を招きます。講習会で学んだことを活かして事故のない安全な作業を心がけてください。今回、参加できなかった方は、次回は是非参加を！

心温まる話題



森さんヤマガラ釣りに成功

笠岡自治会の空き家を購入し 6 年前に鹿児島市から転入された森久行さんは、小鳥が好きで巣箱を庭に造っています。シジュウカラなどが巣箱に入りひなを育てたりするそうです。

2～3 年前からは、ヤマガラが飛んできて森さんから餌をもらうようになりました。

森さんは、「和田は、鹿児島市内も近いし、自然も豊かで住みやすい所です」と田舎暮らしを楽しんでいます。

広い屋敷を菜園畑にして、季節の野菜を栽培し親せきや友達におすそ分けするのを楽しみにしているそうです。

家が笠岡バス停の近くなので、バス停道路周辺を整備しいつもきれいにしていきます。また、サポータークラブや和田小学校応援団にも参加され、地域の美化活動に積極的に取り組んで協力してくださっています。

3 月の行事予定

日	曜	行 事
7	火	ヨガクラブ 20:00
9	木	地区公民館役員・総務教養部会 19:30
10	金	文書発送 女性学級閉級式 19:30
11	土	フラダンス教室 13:00
13	月	ハーモニカ教室 10:00
16	木	学校運営協議会 18:20 第 4 回地区公民館運営委員会 19:30
21	火	春分の日 ヨガクラブ 20:00
23	木	和田小卒業式 13:30
24	金	文書発送 和田小 PTA・地区合同送別会 18:00 (予定)
25	土	フラダンス教室 13:00
27	月	ハーモニカ教室 10:00
30	木	和田地区公民館監査 17:30

「50 年後、あなたは、あなたの地域がどういう姿であって欲しいですか」

昨年、和田地区に移住してきた黒木智大さんの提案により、県アドバイザー事業により龍郷町地域おこし協力隊員として取り組んでこられた村上祐希さんを迎えて話し合いを重ねてきました。年末年始の忙しい中、参加し行政に頼るのでなく、自分たちで地域をどうすれば盛り上げることができるのか、自分のこととして真剣な話し合いができる人々のいる和田地区の未来は明るい兆しが見えたような気がしました。

「資源はどこにでもあがるが、その資源と向き合っていく人がいないと地域は存続していかない」心にとめておきたいですね・・・

公民館だより

和田 その1

第 342 号
令和 5 年 2 月 10 日発行
日置市吹上町和田地区公民館
電話 099-296-3031
ホームページ <http://wada.jpn.org/>



第 5 期地区振興計画（令和 3 年度～5 年度）
地区のテーマ；「ずっと住み続けたい地域を目指して」
三世代 仲よく、住んでよし 学んでよし、
和田地区・和田小学校
和田地区人口：総人口/465 人 男性/228 人 女性/237 人 世帯数/257 世帯 5.2.1 現在

和田地区の資源を活かそう未来会議

3 歩目～まとめ～

「いつか誰かに変えてもらう」のではなく、「自分たちに何ができるのか？」最初の一步を踏み出すための和田の未来会議を鹿児島県のアドバイザー事業を活用して、昨年 11 月 11 日にスタートして、3 回目を開催しました。



地区の課題 緊急度・重要度の高いのは「人口減少対策」

今回は 2 回目に出た和田地区の課題に対して少人数によるグループワークを行いました。それぞれの課題が和田地区にとっての重要度かつ緊急度があるかを話し合いました。

○人口（子ども）減少対策

空き家対策に重点を

どのグループでも人口（子供）減少、空き家の問題が重要であり、緊急性の高い課題であることが分かりました。

人口減少対策では、国も今年、これまでの子育て政策の在り方を改めようとして動き出しました。和田地区でもこれまでの自治会の運営の在り方が、若い世代にとって住みやすい、住みたくくなるような運営方法であるのか

話し合いが必要な時期に来ているようです。

○自治会間の交流も重要では

和田地区には、7 自治会があります。地区外から転入してきた方々は、自治会ごとに様々な行事が個別に行われていることに違和感を感じているようです。

例えば、鬼火焚きは上和田と下和田自治会でされています。

ほかの自治会の人たちも関心のある方は、参加したかったみたい。（子育て世代の意見）

今後、各自治会の行事にも自治会外の方が参加できる行事は参加しやすい雰囲気醸成することが必要と思われま

す。また、自治会の運営方法など各自治会によって異なります。（欠会費制度）

誰でも住みやすい地域にするにはどうすればよいのか、これまでの慣習的な制度で、よい制度は残していき、時代に合わなくなっている制度は廃止していくことが求められているようです。

地区では今回の未来会議で提案された意見を、令和 6 年度から始まる第 6 期地区振興計画に反映できるように具体的にどのように取り組んでいくかを、令和 5 年度に話し合いを重ねていく計画です。

和田地区の資源を活かそう未来会議は、参加された皆さん今後も続けてもらいたいという意見が多く、令和 5 年度以降も継続して実施していくことになりました。

最後にアドバイザーとして未来会議の指導に来ていただいた村上祐希さんより和田地区の感想をもらいました。

地区の姿を語り合う歴史のある 和田地区は素晴らしい

和田地区に来て、地区の基本理念や「こんな地区になったらいいな」地区の姿など、和田地区をどのようにしていこうか目標を立て着実に実行している地域があることに驚かされた。このような取り組みをしている和田地区は、地域を盛り上げるための土台はすでに出来上がっている。また、公民館だよりなどで移住者の紹介を行うなど、コロナ禍で、人と合うことも制限され孤立しないよう、地域として受け入れていこうという姿勢は、自信を持ってアピールしていけば、このような地区にあこがれて住んでみたい関わっていきたいという人が来ることにつながると思う。

平日の夜という参加しづらい時間帯にもかかわらず、地域のためを思い、3 回も参加して下さった多くの人こそ、地域の宝である。資源はどこでもあるが、その資源と向き合っていく人がいないと地域は存続していかない。

都会には、地域のことに関心な人も多く公民館活動が寂しい様子をよく見る。今回 出てきた課題・問題に対しては、これからもヒントが隠されていると思うので、これからもより良い和田地区のために皆さんの頑張っている姿を陰ながら応援しております。

下和田自治会健康セミナー開催



股関節が柔らかいと足の運びもスムーズに

1 月 15 日（日）下和田公民館で健康セミナーを開催しました。今回も中村先生・金澤先生にご指導願いました。

少しの運動で体が丈夫になる

手や足を上げること、意識して普段より真っすぐ上にあげて肩甲骨を動かしたり、膝を抱えて股関節を動かしてみましよう。寝転がって膝を抱えたり自転車をこぐ運動もいいようです。また、片足立ちは骨に刺激を与えます。1 分間の片足立ちは 50 分歩いたことと同じ刺激を骨に与えるそうです。片手で支えながらでもいいようです。

6 自治会 80 名の皆さんが参加

本年度の自治会健康セミナーは 6 自治会で 80 名の参加となりました。

来年度も各自治公民館で開催の予定です。日頃の運動で筋肉増強、健康な体づくりに挑戦し、元気で長生きを実践しましょう。

（3 月の行事予定は、裏面へ）